

「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）」について

本学において、2020 年度に共通科目として AI 関連科目を開設し、2023 年度に「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を設置してから、本年で 5 年を迎える。本プログラムのさらなる発展を図るため、新たに「応用基礎レベル」を設置することとした。

AI や IoT を活用するための知識・技能の一層の充実が求められており、社会の変化に対応しながら、自ら考え、目標を定めて課題を設定し、多様な人々と協働しつつ知見や情報を統合して新しい価値の創造に主体的に関わる人材の育成が必要とされている。

本学の共通科目における「基盤的プログラム」として、これからの社会で求められるイノベーションを支える人材の育成を図るとともに、特に人文・社会科学系の学生における AI リテラシー力および情報活用力の一層の強化を目的とする。さらに、リテラシー科目で培った基礎を発展させ、データから意味を抽出し、AI を活用して課題解決へとつなげる応用基礎力を育成し、自らの専門分野への応用を促すことをめざす。

1. AI 教育の全学的推進についての基本方針

本学は、人間の尊厳が尊重され、多様性を内包した持続可能な社会に向けて、AI やそれに関連する基礎知識を持ち、活用することで現実の諸問題を解決できる能力を広く育み、新しい価値の創造に主体的に関わろうとする人材を育成する。

2. 教育目的

文部科学省が示す「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」における応用基礎レベルの趣旨を踏まえ、自らの専門分野において数理・データサイエンス・AI を応用・活用するための基礎的能力を体系的に養うことを目的とする。リテラシーレベルで培った知識・技能を基盤として、より実践的・課題解決的な学修を通じ、データから意味を抽出し、社会・地域・専門領域へ還元できる実践力を育成する。

3. 教育目標

次の能力を身に付けることを目標とする。

- (1) リテラシーレベルで学んだ AI・データサイエンスの基本概念およびツールを活用し、自らの専門領域に関連する課題をデータ駆動的に分析・整理できる。
- (2) 分析結果に基づき、課題解決や新たな価値創出につながる提案を論理的に構築し、関係者に説明・共有できる。
- (3) AI・データ活用に伴う社会的・倫理的課題を理解し、適切な判断のもとで応用・実践できる。

4. 開講科目

「共通科目」の「実務基礎」区分に次の 2 科目を新たに設置し、「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）」科目とする。

科目名	単位数	配当年次
AI 活用基礎	2	2 年次
データサイエンス基礎	2	2 年次

※2023 年度以降入学生を対象とする。

5. プログラム修了要件

- (1) 「AI 活用基礎」と「データサイエンス基礎」を修得すること。
- (2) 短期大学の学生で「OGU 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）」の履修を希望する者は、単位互換により履修することができる。
- (3) プログラム修了者には、「修了証」を与える。

以 上